

取組概要

鶴見中学校では、「郷土愛と確かな学力を身につけ、心豊かでたくましい生徒の育成」を目指し、学力向上対策「本校の重点123」に基づく授業実践や地域との交流等を通じた「郷土学」、生徒会を中心とした学習目標や体力向上の取組を推進している。

工夫・ポイント

- 【学校マネジメントの工夫】
 - ◆運営委員会を月2回以上開催し、学期はじめに会議での提案事項一覧を示した年間会議計画を示すなどして見通しをもち、会議の短時間開催を実現している。
 - ◆学校運営協議会、地域協育コーディネーター、校区ネットワーク会議等において取組の共有を図るとともに、総合的な学習の時間における地域学習・交流学習を推進している。

特徴的な活動

- ◆学力向上対策「本校の重点123」に基づき、互見授業実施期間を年間8期設定し、授業改善に向けた取組を推進している。
- ◆体力向上について、生徒会保健委員会を中心としてLPOW（Let's Play Outside Week）の取組を企画・運営・実践し、日常的な運動につなげている。

関係者の声

- ◆「自分の言葉で豊かに表現する力の育成」に向け、鶴見中として期待する生徒の姿や判断基準を明確にし、検証・改善を進めていくことが考えられる。また、交流学習における生徒の表現活動の様子を、地域住民等から評価してもらい、生徒にフィードバックすることも考えられる。
- ◆各教科等の担当者が作成し生徒に示している家庭学習計画を小学校にも共有し、児童生徒が自立的に家庭学習に取り組むよう、小中一体的な取組を進めることも考えられる。

学力向上対策「本校の重点123」

本校の重点123
佐伯市立鶴見中学校

【1】付けたい資質・能力、ねらいを明確にした授業の実施

- ①付けたい資質・能力を育成することができたとときの生徒（ゴール）の姿の想定
- ②評価規準を意識した「ねらいA・B・C」の設定
 - A…学習内容（～を、～について 等）
 - B…学習活動（OOを通して、OOでまとめて、OOと比べて 等）
 - C…育成を目指す資質・能力（△△できるようにする、△△に気づくようにする、△△を高める 等）

【2】「情報の取り出し」を意識した授業の実施

- ①多数の情報の中から課題解決に必要な情報の選び出し
→ノートや電子黒板、教室掲示等で「観習事項」を振り返る
- ②思考・判断・表現のツールとしてのノート指導や教室掲示、ICTの有効活用

【3】必然性をもったペア・グループ活動の実施

- ①ねらい達成に向け、効果的なペア・グループ活動の具体的な姿の想定
- ②「個（考えをもち交流に向かう）→ペア・グループ（交流）→個（考えの再構築）」の基本を意識

教師と生徒がともに創る授業

【鶴見中学校 共通授業取組】

「生徒5つのルール」（授業5原則）

- 1 チャイム前着席
- 2 授業準備（忘れ物、宿題、準備物）
- 3 あいさつ（大きな声、きちんとした礼）
- 4 発表・質問（1回は挙手して発表）
- 5 ノート（指示通り、正確に）

「先生5つのルール」

- 1 チャイムと同時に授業を始め、授業を終わります。
- 2 板書はマグネットシートを使い、丁寧に書きます。
- 3 「めあて」は青で囲み、「まとめ」は赤で囲みます。
- 4 「振り返り」の時間を確保し、評価します。
- 5 生徒「5つのルール」の徹底をはかります。

1人1台端末活用



録音機能の活用

思考を促す取組

理科の考え方
一課題を解決するために一

比較する	AとBの結果を比べると・・・ ○共通点 ～な共通点が・・・ ○差異点 ～な違いが・・・
関係付ける	AとBの結果（事実）をつなげると・・・
分類する	グループに分けると・・・
推測する	～だから、・・・と考えられる
選択する	～だから、・・・を選んだ
具体的に	例えば（具体的には）・・・
多面的に	他の視点から考えると・・・
批判的に	本当にそう言えるか
総合的に	つまり（まとめると）・・・